

新型コロナワクチン接種に関する主治医へのお問い合わせ等について

新型コロナワクチン接種の予診票に「主治医にワクチン接種を受けてよいと言われましたか。」の欄があるため、お問い合わせが増えております。主治医への確認につきましては、下記の事項をご確認の上、次回受診時にお願いいたします。次回受診時で間に合わない場合でも、接種当日に予診医が問診を行い、接種が可能と判断した場合、接種可能となります。お電話では回答できませんので、あらかじめご了承ください。

なお、当院では高齢者（令和3年度中に65歳に達する、昭和32年4月1日以前に生まれた方）向けの新型コロナワクチンの接種は行っておりません。

また、現在承認されている「ファイザー社の新型コロナワクチン」について、接種を受けることができない人、注意が必要な人として挙げられているのは以下のとおりです。（出典：厚生労働省ホームページ）

1. 受けることができない人

- ・明らかに発熱している人（※1）
- ・重い急性疾患にかかっている人
- ・本ワクチンの成分に対し重度の過敏症（※2）の既往歴のある人
- ・上記以外で、予防接種を受けることが不適切な状態にある人

（※1）明らかな発熱とは通常37.5℃以上を指します。ただし、37.5℃を下回る場合も平時の体温を鑑みて発熱と判断される場合はこの限りではありません。

（※2）アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状。

2. 注意が必要な人

- ・抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害（血友病など）のある人
- ・過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
- ・心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人
- ・過去に予防接種を受けて、接種2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた人
- ・過去にけいれんを起こしたことがある人
- ・本ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある人

参考となるホームページ

○厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_00184.html

○一般社団法人 日本癌治療学会

<http://www.jsco.or.jp/jpn/index/page/id/2377>

○腎臓病で免疫抑制療法を受けている患者さんへの COVID-19 ワクチン接種に関する見解について

https://jsn.or.jp/medic/data/For-patients_ver%203.pdf

○一般社団法人 日本産婦人科感染症学会・公益社団法人 日本産科婦人科学会

http://www.jsog.or.jp/news/pdf/20210127_COVID19.pdf